

# BUTSURYO SHINBUN

NO.14

Butsuryo College of Osaka

発行所：大阪物療大学  
発行者：田中 博司  
発行年月：平成 30 年 1 月  
編集：広報委員会  
※無断転載を禁じます



- 学長挨拶
- 2017年度オープンキャンパス
- 専門基礎科目実験・学内実習
- 臨床実習を経験して
- 近畿地区学生体育大会
- 第一種放射線取扱主任者試験合格者の声
- 物療祭、卒業研究ポスター発表
- 第14回市民公開講座
- キャリアガイダンス
- ボランティア活動
- 推薦前期入試結果、一般前期・後期入試概要



## 新年のご挨拶

あけましておめでとーございませう。

学長の田中博司です。

”みんなで、わいわい、がやがや楽しくやる“ 方針も  
少しずつ浸透していき、

学生たちのレベルアップに繋がっているようです。

いつでもだれとどのようになんでいくか？

環境整備に努めていきたいと思ひます。

皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひします。



大阪物療大学 学長  
田中 博司





# 2017年度オープンキャンパス



では、参加者の方々と本学に在籍している先輩学生達とが、大学生活や日々の講義、入試に向けての勉強法など様々な話題で盛り上がっていました。

また、第4回オープンキャンパスでは「来たれ、大阪物療大学 夏祭り!」と題して、毎年恒例となっている各クラブによる屋台や、昨年度に発足した軽音楽部によるライブ演奏が行われ、5月、6月、7月に開催されたオープンキャンパスとはまた違う、いつも以上に活気に溢れたオープンキャンパスであったように思います。

「大阪物療大学」という大学、そして「診療放射線技師」という職業の魅力をより一層体感して頂けるようなイベントにできるよう、スタッフ一同、来年度も精一杯おもてなしさせて頂きますので、皆様奮ってご参加下さい。

今年度は5月28日(日)、6月18日(日)、7月16日(日)、8月20日(日)の日程で、計4回オープンキャンパスを開催しました。おかげさまで今年度もオープンキャンパスは大好評で、実に182名の方々(保護者の方除く)にご参加頂きました。

本学のオープンキャンパスでは「ミニスタデイ」「個別相談」「実習体験」「施設案内」「保護者向け体験」「在学生との団らん会」等たくさんブースをご用意しており、複数回参加して下さる方にもご満足いただけるよう毎回新しいブースを取り入れました。

さまざまなブースが開かれている中でも特に「実習体験」と「在学生との団らん会」の2つのブースが人気を集めていました。「実習体験」のブースでは、普段なかなか間近で見ることが難しいCT装置やMRI装置に実際に触れることができるため、参加者の方々も興味深そうに学生スタッフからの説明を聞かれています。「在学生との団らん会」



本学では「臨床実習」を受けるまでに実験・実習科目として、1年次後期の「専門基礎科目実験」、2年次前期から3年次前期の「放射線技術学実習Ⅰ～Ⅴ」を受講するカリキュラムとなっています。

1年次後期の専門基礎科目実験は、学生が初めて取り組む実験科目です。物理学や放射化学、医用工学といった専門科目を学ぶ上で基礎となる科目に関する簡単な実験を通して実験の進め方やレポートのまとめ方を学びます。

2年次前期の放射線技術学実習Ⅰ・Ⅱでは、学内に設置されている機器を操作しながら実際にX線を用いた実験を行います。模擬人体を用いながらX線による検査方法を学び、装置の仕組みについて

理解を深めます。

2年次後期の放射線技術学実習Ⅲでは、現場の第一線で活躍されている診療放射線技師の先生を招き、X線一般撮影検査・消化管造影検査・X線CT検査・超音波検査について、より臨床実習に近い形での実習を行っています。

3年次前期の放射線技術学実習Ⅳ・Ⅴでは、2年次の実習に比べて、より高度な実習に取り組みと共に、患者とのコミュニケーションに関するテーマについて学ぶなど、臨床実習を意識した内容も含まれています。

学生は診療放射線技師として働く自分たちの姿を想像しながら、実習・レポート執筆に取り組んでいます。



## 専門基礎科目実験・学内実習

## 臨床実習を経験して

臨床実習を経験された3年次生の3名にお話を伺いました！



浅沼 佳希くん  
岩手県立  
盛岡第四高等学校 出身

①患者対応(患者呼び出し、ポジショニング)や装置の移動、準備(位置合わせ、寝台移動)など業務の一部を実際に行い、指導していただいています。

②基本的に必修の授業は必要だと思いますが、その中でも特に解剖と病理の知識は活かされていると思います。

③解剖は、どのモダリティでも用いられる基本的な知識であり、すべての土台になっていると思います。病理の知識は、医療人として知っていて当たり前の知識であると再確認させられました。

④臨床現場では略語が飛び交い、その略語が何の略語かを理解できないことが多かったです。

⑤今後も今まで通り復習をしつかり行い、毎日の実習で得た知識を自分の糧にしていきたいです。

⑥他の実習先の事情については詳しく分かりませんが、実習を経験することで、今までの知識の理解を深めるだけでなく、教科書にはない技術や工夫などを学ぶことができます。実習に対して臆病にならないで、前向きに捉えてほしいです。



門藤 祐斗くん  
京都府立  
朱雀高等学校 出身

①期間ごとに各モダリティの見学、および患者対応等をさせていただきます。

②放射線技術学実習です。車椅子やベッドの患者を移乗させる際の補助をする機会が多く、学内実習で学んだことが活かされています。

また、患者対応においても学内実習で行ったことが活かされているなどと思いました。

③すべてのモダリティにおいて、知識不足を痛感しました。特に、核医学検査では知識不足を痛感することが多々ありました。

④国家試験に万全の状態に臨めるように、いま一度、基礎医学から専門科目まで土台を固める為に、復習を行なっていきたいと思っています。

⑤座学で学んだ内容を臨床実習で見ることにより、理解度が必ず深まります。その為にも今の間に座学で基礎を理解することが大切だと思っています。

また、臨床現場ではコミュニケーション能力が必ず必要となりますので、今の間に色々な人と関わって身につけていってほしいです。



山下 なつみさん  
大阪府立  
和泉高等学校 出身

①一般撮影では患者対応(患者呼び出し、ポジショニング)まで。他は、主に見学と患者さんの移乗などの補助を行っています。

②患者さんへの声掛けや、検査説明をスムーズにすることができたことから、放射線技術学実習で学んだことが活かされているように思います。

③病名とその略語、どういった病気が、また発症原因などをもう少し学んでおけば良かったと思いました。

④自分の知識不足な部分があったので、そこを重点的に勉強していきたいです。

⑤臨床実習までに、知識を自分自身の力しておくことで、より充実した実習になると思います！





平成29年10月27日(金)、28日(土)の2日間、第6回物療祭を本学4号館で盛大に開催しました。今年のテーマは『笑顔満載😊物療祭』。最長波長出しちゃうゾ〜で、文字通り笑顔に満ち溢れたエネルギーギッシユな内容となりました。

物療祭名物の模擬店は8店(たません、たこ焼き、わたがし、はしまぎ、おでん、焼き鳥、焼きそば、豚汁)が出店し、祭りの雰囲気を感じていました。どの店も繁盛しており、一口級の味付けに参加者も大いに舌鼓を打っていました。

また、アリーナでは2日間を通してたくさんのイベントを開催しました。まずはトップバッターである軽音楽部及び有志のバンドによるロックでポップな演奏で会場は大盛り上がり。続いて行われたコスプレ大会では、2年次生の田中梨夏さん・兼田梨子さんがダンスを交えたパフォーマン

スで他の出場者を圧倒し、競技系大会では渡邊美咲さんから野球部の有志が見事に優勝しました。

2日目には毎年恒例の市民公開講座を開催し、『認知症の現状と成年後見制度』と題して、関西医科大学附属病院・佐藤幸代講師、大阪弁護士会・藤井安子講師にご講演いただき、多くの市民の方が参加されました。



# 笑顔満載😊物療祭

## 最長波長出しちゃうゾ〜

続いてのミス・ミスター物療祭コンテストでは、本学の才色兼備の美男美女が登場し、投票の結果、2年次生の関口琴音さんがミス物療祭に、同じく2年次生の土本光くんがミスター物療祭に選出されました。また、このあとの一芸大会では、芸達者な学生や教員が次々と一芸を披露し、その中で見事優勝したのは1年次生の八切智くん・山田悠くんの野球部ペアのコントでした。

緊張感あふれる質疑応答が活発に行われました。審査の結果、学長賞には大槻勇一朗くんらの『ERCCP』時の簡易散乱線防護クロスによる被曝低減の検討』が選ばれました。

そして、物療祭もいよいよクライマックスを迎え、豪華景品がもらえる学生自治会によるビンゴ大会で無事幕を下ろしました。山内学生自治会会長以下自治会メンバーも、大成功の物療祭を終え、ホツとした様子でした。物療祭の企画から準備、そしてこの2日間の運営と大変お疲れ様でした。



# 卒業研究ポスター発表

4年次生の皆さん、研究から発表までお疲れ様でした!

本学では、4年次生の前期に卒業研究が行われます。本年度は全部で5つの研究領域があり、各領域3〜5名の教員の指導のもと、研究活動を行いました。研究テーマは放射線技術などに関する研究が中心ですが、他にも人工知能や国家試験問題に関する研究などもあり、計38件の研究成果が卒業研究ポスター発表会にて披露されました。

発表会では、4年次生自らが作成したポスターの前で来場者と対面し、じっくりと時間をかけて研究内容に関する質疑応答を行いました。わかりやすく研究内容を説明するとともに、来場者の質問内容を理解し的確に答えることが要求されるため、学生にとっては大変有意義な経験を積むことができます。

物療祭初日には、まず全教員が各ポスター発表に対して質疑応答を行う「教員セッション」が行われ、研究内容と発表に対する各教員の評価をもとに、学長賞、学科長賞各一件の他、ポスター賞3件の優秀な研究発表が選出され、物療祭最終日の閉会式にて表彰されました。続いて、1年次生から4年次生までの全学生との質疑応答を行う「在学生セッション」が行われ、質疑応答を通じて、先輩・後輩間の交流が行われました。

さらに2日目には、「一般セッション」が行われ、卒業生や一般来学者の方など多くの方々にご来場いただき、本学4年次生の充実した研究活動を知っていただくことができましたように思います。





# 第14回市民公開講座



平成29年10月28日(土)、物療祭の催しのひとつとして、堺市後援のもと第14回市民公開講座を本学4号館アリーナにて開催しました。今回はメインテーマを『認知症の現状と成年後見制度』とし、当日は79名の参加者の方々にご来場いただきました。

学長挨拶に続き、「認知症について知っておきたい5つのポイント」と題して、関西医科大学総合医療センターの佐藤幸代講師(認知症看護認定看護師)が講演されました。少子高齢化社会に突入した日本では、認知症患者の増加は大きな問題であり、2025年には高齢者の5人に1人が認知症を発症する可能性があると言われています。臨床現場で認知症患者と多く関わっている佐藤講師からは、その予防対策のポイントを5つにまとめて詳しくお話ししていただきました。

大阪弁護士会の藤井安子講師には、「成年後見制度」について、身近な事例を用いてその手続き方法や法律用語をわかりやすく説明していただきました。成年後見制度とは、認知症などで判断能力が不十分な方々が不利益を受けないために、家庭裁判所に申請してその方々を保護または支援してくれる人(成年後見人)を付ける制度です。高齢化が進み、認知症の方が増えている現代ではとても必要とされている制度であるため、参加者の方々も真剣に耳を傾けていらっしゃいました。

今回の市民公開講座は台風の影響もあり、前回より参加者は少なかったのですが、講演後に「もっと話を聞きたい」と演者の周りに集まり、熱心に質問する参加者の方々の姿から認知症への関心の高さがうかがえました。

今後も地域の皆様が関心を持っていらっしゃるテーマを選び、充実した公開講座を開催したいと思います。



大阪弁護士会  
藤井安子講師



関西医科大学総合医療センター  
佐藤幸代講師



# キャリアガイダンス



友達に聞いてみた!  
大学で学んでおきたい  
ランキング!!



今だから言える!  
大学2年生の時に  
大切なこと!!



門口 仁美さん  
春秋会 城山病院 勤務

増井 辰也さん  
奈良県立病院機構  
奈良県立西和医療センター 勤務

1 解剖学

2 病理学

3 社会的マナー

4 コミュニケーション力

5 CTやMRIの原理

1 授業を大切に!

2 大学時代の友達や先輩を大切に!

3 臨床実習を大切に!

4 挨拶を大切に!

平成29年7月17日(月)、本学の卒業生2名を講師に迎え、2年次生を対象としたキャリアガイダンスを行いました。今回のガイダンスでは、お二人より『臨床現場で診療放射線技師として働く今だからこそ、後輩の皆さんに伝えたいこと』についてお話をいただきました。

「大学生の間に学んでおきたいこと」や「おすすめの勉強術」、「コミュニケーション能力の鍛え方」、「診療放射線技師を目指す上で大切な4つのポイント」など自身の経験談を交えた講演に2年次生も真剣な表情で耳を傾けていました。

診療放射線技師として働くために必要なスキルだけではなく、2年次生の今、出来ることを伝えていただき、これから臨床実習や国家試験を控えた2年次生にとって大変貴重な時間となりました。



# ボランティア活動

大阪物療大学では、社会貢献の一環として学生がボランティア活動に参加しております。

## マイスタディ

マイスタディとは、放課後、子どもたちにきめ細やかな学習指導を行う堺市の実施事業です。

子どもたちの自学自習力を培うため、週に1度、参加を希望する鳳小学校の児童に対して、コーディネーターと学生スタッフが協力して、国語・算数の学習サポートを実施しています。

頭で考えるだけでなく、体験することを大切に、世代間交流を積極的に進めています。



## ★他にもたくさんのボランティア活動に参加しています

### SAKAI子育てつながりフォーラム

乳幼児とその保護者、小中高生、大学生、子育て支援者が集まり、1日、あそんで、学んで、交流して過ごすイベントです。



### 第5回インクルーシブフットボールフェスタ Half Time CUP

疾病・障がい・フットサル経験の有無・国籍・年齢・性別の違いに関わらずフットサルで交流を深め、誰もが暮らしやすい社会になるための一歩を担うことを目的として開催されるフットサル大会です。



## ノルディックウォーキング

ポールを使い、全身の筋肉をたくさん刺激するノルディックウォーキングは、普通のウォーキングよりエネルギー消費量が20%も増加するため、体力づくり・スタミナアップ・減量などにとっても効果的です。

堺市唯一の医療系大学として、シニアと学生の異世代交流の場とした地域の絆づくりを目的に、地域貢献の一環として活動を継続しています。



### 優×友×遊フェスタ

高石市にある各種団体が子ども達に昔の物作りや遊びを伝えるイベントです。



### 2018年度 推薦前期入試 志願者・受験者数・合格者数

選抜区分	募集定員(A)	志望者数		受験者数		合格者数		志願倍率(B/A)	受験倍率(C/A)	合格倍率(C/D)
		総数(B)	現役数	総数(C)	現役数	総数(D)	現役数			
			女子数		女子数		女子数			
推薦前期	30	66	43	62	40	38	23	2.2	2.07	1.63
			23		22		15			

### 2018年度 一般入試(前期・後期)概要

選考区分	試験日	出願期間(16:00郵送必着)	合格発表	募集人員	試験の内容
一般入試(前期)	1/28(日)	1/9(火)~1/25(木)	1/31(水)	一般前期入試:30名 一般後期入試:8名 合計38名	・数学I・II ・全員に面接試験(グループ面接、10~15分程度)を実施します。
一般入試(後期)	3/18(日)	3/1(木)~3/15(木)	3/20(火)		・英語か数学Iいずれか ※英語はコミュニケーション英語I・II、英語表現I ・全員に面接試験(グループ面接、10~15分程度)を実施します。

# FREE CAMPUS

本学を実際に訪れて見学・説明をご希望の方に「フリーキャンパス」を行っています。詳しくは、本学のホームページをご覧ください。

お問い合わせ、お申込みはお電話でも承っております。どうぞお気軽にご連絡ください。

大阪物療大学 渉外係 (TEL:072-260-0095)

